

サプライチェーン・サイバーセキュリティ対策促進事業

令和4年度予算額 **3.0億円（新規）**

事業の内容

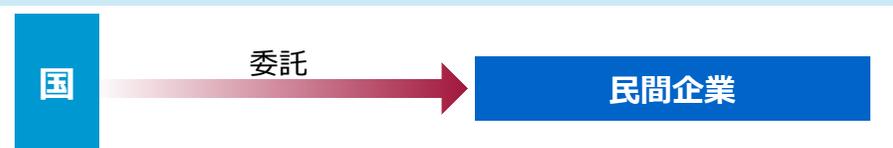
事業目的・概要

- 産業分野におけるサイバーセキュリティ確保に関して、サイバー空間とフィジカル空間の融合が進むSociety 5.0 においては、サイバー空間で流通するデータの増加による流出リスクの拡大や、サイバー攻撃起点の増大、フィジカル空間への影響の拡大が見られ、国際的にもルール形成が進んでいます。また、昨今では、セキュリティとセーフティの融合が一層進むとともに、クラウドやオープンAPIの活用により、システム等を所有するオーナー企業がシステムの全体像を把握できない課題が生じています。
- 本事業では、サプライチェーン全体でのセキュリティ確保のための産業界一丸となった対応に向けて、ガイドライン策定やソフトウェアサプライチェーン管理の高度化のための実証を行います。

成果目標

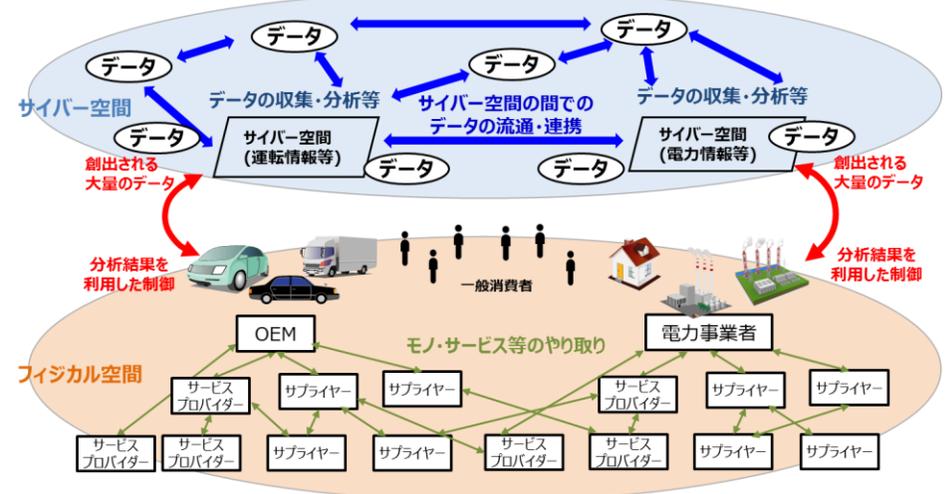
- 令和4年から令和6年まで3年間の事業であり、ガイドラインの整備等を進めることにより、7以上の産業分野でサプライチェーン全体でのサイバーセキュリティ対策が実施されることを目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

サプライチェーン・サイバーセキュリティ対策基盤構築【委託】



- サイバー空間とフィジカル空間の融合が進み、サプライチェーンが動的に構成される状況下におけるサプライチェーン全体での対策を進める必要があります。
- 業界横断的な課題や業界別の課題に対して、ガイドラインを整備することで、個々の企業による対策を超えて一体的な取組を促進する枠組みを整備します。

「開発のための投資」から「検証のための投資」への重点化促進【委託】

- ソフトウェアを構成する各コンポーネントを誰が作り、何が含まれ、どのような構成となっているかを示すソフトウェアの部品構成表であるSBOMの活用促進を実施します。